JLCC 授業シラバス

| | |
|---|---|
| 講義コード | JC102 |
| 講義科目名 | 和菓子と日本人 A<br>Wagashi in Japanese Life A |
| 開講年度 | 2022 年度 |
| 開講学期 | 後期（秋学期） |
| 曜日時限 | 火曜日 2 時限 |
| 必修選択 | 選択必修 |
| 単位数 | ２単位 |
| 担当教員 | 脇坂 真彩子 |
| 使用言語 | 日本語 |
| 教室 | |
| 授業概要・目標 | 和菓子は日本人にとって、生活に潤いをあたえてくれる、なくてはならないものである。その歴史は上代に遡るが、日本人の生活の変化とともに発展し、現在に至るまで人々に好まれている。和菓子は季節や年中行事と深く結びつき、現在に至るまで日本人の生活の一部になっているのである。この授業では、１）和菓子の種類と芸術性、２）日本人の生活と和菓子の関わり、３）和菓子の歴史という 3 つのテーマを軸に和菓子の基本的な知識について学ぶ。そして、受講生自身が自文化を振り返りながら、和菓子を取り巻く日本文化を深く理解する。 |
| 授業形態 | 1. 講義 2. ディスカッション 3. 発表　4. 実習 |
| 履修に関わる注意事項 | この授業は実習を含みます。食物アレルギーがある人は担当教員に必ず知らせてください。 |
| 授業計画 | 第 1 回目　オリエンテーション<br>第 2 回目　いろいろな和菓子<br>第 3 回目　和菓子の分類<br>第 4 回目　季節と和菓子<br>第 5 回目　和菓子の五感・菓銘<br>第 6 回目　和菓子のモチーフ・文様<br>第 7 回目　年中行事と和菓子①<br>第 8 回目　年中行事と和菓子②<br>第 9 回目　和菓子実習<br>第 10 回目 和菓子の歴史①<br>第 11 回目 和菓子の歴史②<br>第 12 回目 和菓子の歴史③<br>第 13 回目 世界の中の和菓子　発表① |

| | |
|---|---|
| | 第 14 回目 世界の中の和菓子　発表②<br>第 15 回目 総まとめ<br>予定は、受講生と相談の上で変更することがあります。 |
| テキスト | なし。プリントを配布する |
| 参考書 | 1. 青木直己（2000）『和菓子の今昔』淡交社.<br>2. 川端道喜（1990）『和菓子の京都』岩波新書.<br>3. 中山圭子（1994）『和菓子ものがたり』新人物往来社.<br>4. 日本フードライセンス国際協会『和菓子コーディネーター検定教本』書肆侃侃房.<br>5. 北岡正三郎（2011）『物語　食の文化：美味い話、味な知識』中公新書.<br>6. 早川幸男（2004）『改訂 2 版　菓子入門』日本食糧新聞社.<br>7. 藪光生（2015）『和菓子』角川ソフィア文庫. |
| 成績評価 | クラス活動 20%、宿題 40%、課題① 20%、課題② 20% |
| 学習相談 | 授業の前後またはリクエストに応じて対応します。 |
| その他<br>（自由記述欄） | ・課題やレポートは期限までに提出してください。<br>・授業を欠席する場合は、必ず担当教員にメールで連絡してください。 |